

令和5年度『わたし×未来を切り拓くワークショップ』開催報告

ワークショップ(全4回)

ジェンダー平等を実現し、“自分らしく活躍する”ためのワークショップを開催しました。

【1回目】 令和5年9月 24 日(日曜日)

テーマ:「ジェンダー平等って何？」からのはじめの一歩

ねらい:ジェンダーの本当の意味を知り、視野を広げ多様な考え方を学ぶ

講話では、ジェンダー平等について歴史を振り返り、男女の役割の認識の変化に気づき、ジェンダーに関係なく誰もが暮らしやすい社会にするため、改めてジェンダー平等について考えることができました。また、ワークショップでは、自分の固定概念について点数をつけグラフ化し、自分でも意識することのなかった『アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)』に気づくなど、グループ内で話を共有しました。



◇講師 NPO法人ルネスかごしま 代表
谷川 勝彦 氏
講話 『ジェンダー平等とは?』



◇講師 若松 美和 氏
『自分の固定概念に気づくワークショップ』

【参加者の感想】

- ジェンダーについて、自分の考えと違うところを発見できた。
- ジェンダー平等の歴史を知れて良かった。とてもわかりやすかった。
- 男だとか女だとか関係なく、やりたいことをやろう!と思った。
- 性別に関係なく、自分の人生を自分で決めながら生きるという言葉が心に残りました。など

【2回目】 令和5年 10月 22日(日曜日)

テーマ:「わたしがやりたいことのメッセージとレシピ vol.1」

ねらい:講師の話聴いて意欲高めるとともに、自分のやりたいことを改めて考えるきっかけを作る。

「自分の好き」や「やりたいこと」に向かって、明るく前向きに挑戦しているお二人にも、たくさんの困難や苦労もあるけれど、それを乗り越え、自分の人生に責任を持ち、夢に向かって努力し続ける姿に参加者は勇気づけられていました。年齢や性別、環境にとらわれることなく、自分の好きなことに情熱を注ぎ、挑戦し続けることを学ぶことができた講話となりました。

ワークショップでは、自分の価値観知り自分軸を再確認するとともに、人の価値観も共有しながら自分のやりたいことにチャレンジしていこう！という想いを育む場となっていました。



◇講師 StrawberryHouse彩
代表 前田 彩花 氏
講話 「わたしがやりたいこと」



◇講師 クレバリーホーム鹿屋中央店
店長 肥後 智子 氏
講話 「どうして私がこの仕事就いたか」



◇講師 おおすみハナマルシェ
代表 隈崎 和代 氏
『自分の価値観に気づくワークショップ』

【参加者の感想】

- 自分の夢を叶えるために切磋琢磨する姿にパワーをもらえた。
- いつくになっても、自分の好きなことをすることは素敵だと感じた。
- 自分の好きを見つけて挑戦したい！と思った。
- 頑張って活躍する人を応援できる人でいたいと思った。 など

【3回目】 令和5年 11月 26日(日曜日)

テーマ:「わたしがやりたいことのメッセージとレシピ vol.2」

ねらい:講師の話から、自分の夢と現実の違いを知る中で、自分に問いかけながらその時々
の気持ちに素直になり、新たなチャレンジに向かう決断と勇気、やる気アップする。

人との出会いや経験によって、「さつまいもアナウンサーになる!」といった目標を抱くまでの
エピソードを聴くことができました。自分のやりたいことに情熱を注ぐ姿や、地域に貢献する活
動をされていることに参加者から感謝の思いが浮かび上がっていました。

ワークショップでは、グループ毎に「やりたいこと」の洗い出しと絞り出し作業を行い、参加者
は互いの意見を共感し合いながら活発に取り組んでいました。



◇講師 かのやPRLレポーター(鹿屋市地域おこし協力隊)
鳥越 佳那 氏
講話「夢を追いかける道
～さつまいもアナウンサーの挑戦～」

◇講師 おおすみハナマルシェ
代表 隈崎 和代 氏
『やりたいことを見える化するワークショップ』

【参加者の感想】

- 自分の過去、体調、やりたいことと向き合う時間が大切だと感じた。
- 自分の得意とする分野で、ワクワク楽しく鹿屋を愛する思いが最高だと思った。
- 目標設定が明確で、実践に基づく発表でわかりやすい話が聞けました。
- 熱量が高く、素敵な笑顔と自ら楽しみ、ビジョンがしっかりされて素晴らしいなと感じました。
- 私にないものを持っていると感じ、刺激を受けました。 など

【4回目】 令和6年1月21日(日曜日)

テーマ:「わたしなんて」から「わたしなら」へ。ジェンダー平等へのパラダイムシフト
ねらい:自分の考えや想いが形になる様を体感し、共感と共同の大切さと難しさ知る。
また、自分の想いが形になることにより自信に繋げる。

今年9期目を迎えたおおすみハナマルシェの誕生のきっかけから、これまでの活動の歩みを聴く貴重な時間となりました。人を大切にすると同じように、物、事を大事にすることや、“やりたい”と思った瞬間から変化が起きているという言葉に参加者は励まされていました。

ワークショップでは、最終的に参加者が実現したいことを、心をついにアイデア共有しました。参加者は、これからも『わたしのやりたい!』を共感、協力、感謝の心を忘れずに一人ひとりが活躍できる未来を描いていくことを学んでいました。



◇講師 おおすみハナマルシェ 代表 隈崎 和代 氏
『おおすみハナマルシェの作り方』
『やりたいことを見える化し、実践に繋ぐワークショップ』

【参加者の感想】

- やってみたいという気持ちが発展していくことがすごいと思った。失敗から学んで、成功させる前向きさが大切だと感じた。
- 自分のやりたいことは自分の力で!という言葉が印象的でした。自立とエネルギーのある軸の通った考え方が素敵でした。
- イベントへの情熱を感じた。自分の夢、やりたいことを実現することは大変だが、楽しい人生にするために必要だと思った。
- 全ての行動にベースになる思いがあると感じた。人と繋がっていく喜びを感じさせてもらって学びある時間となった。など